



ボランティアの

初体験

ぼくたちに

まかせてください♡

ねえのたろん。
ボクたちもお何年も
ボランティアをしてきたから
初体験じゃないね。



そうだね ボランティアの達人だね。

でもね フッピー。
僕はいつでも初めての気持ちを大切に
しているんだ。
みんなの活動に参加するときはね。

7月11日 土 ~ 8月31日 月

イベントや体験を通じて市民公益活動への関心を深める催し

夏の市民活動・ボランティア体験 2015



((すかっこの市民活動情報))



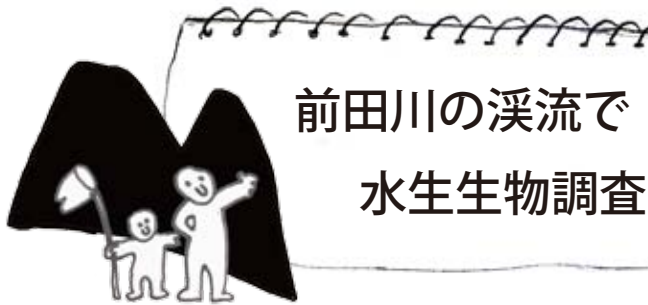
夏

水上安全法救助員養成講習

アマモって知ってる？

海の中を箱メガネで観察

は

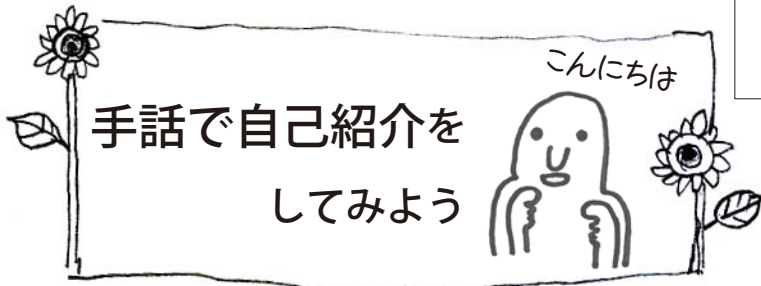


前田川の溪流で
水生生物調査

ゴ

ト

車椅子から
見える街って
どんなだろう



手話で自己紹介を
してみよう

こんにちは

い

っ

ぱい

三笠公園で
野外映画会

「夏の市民活動・
ボランティア体験 2015」は

横須賀近郊でおこなわれる、
さまざまな市民活動から体験会をご紹介します、

みんながボランティアをおこ
なうきっかけを作ります。

冊子

参加の方法など詳しい情報も載っています。

Event information book

35 団体 40 イベント

夏の市民活動・ボランティア体験2015
期間:7月11日(土)~8月31日(月)

夏の市民活動・ボランティア体験は、
体験を通じて、市民公益活動やボランティアへの
関心と理解を深めていただくための催しです。
今年は横須賀市社会福祉協議会の「夏のボラン
ティア体験まつり」で、より楽しいイベントがたくさん
盛り込まれたイベントが盛り込まれていきます！

問い合わせ 横須賀市社会福祉協議会・ボランティアセンター
電話 046-859-3150 Fax 046-859-3152

事務局 まよまちボランティアセンター
電話 046-821-1305 Fax 046-824-8110

いつもの公園がまっくら
不入斗公園陸上競技場で
天体観測



ラジオ

ON AIR 78.5MHz

ラジオ『FMブルー湘南』の番組「遊びにきませんかスタジオへ」で
活動PRをおこないます。

7/15 (水) 15:00 ~ 15:30

8/ 5 (水) 15:00 ~ 15:30

ひと ～市民活動を支える人たち～

横須賀落語愛好会 代表 西村 忠 さん

老練な雰囲気とウィットに富んだ話術、横須賀落語愛好会の西村忠さんにお話を伺った。

昭和 10 年、静岡県の大井川岸の千頭に生まれる。3 歳のとき大工の父と家族で、親方のいる横須賀へ引越した。小学校 4 年から集団疎開を経験。戦後、兵舎を転用してできた坂本中学では長いすを机にしての勉強だった。

市の高校へ進み、見よう見まねでベース（コントラバス）を弾くバンドマンのアルバイトをはじめた。その頃から飲酒が始まり、米海軍基地で働くようになってバンドマンは続け、お酒の量も次第に多くなっていった。酔っ払って演奏中、舞台の上で前のめりにバターンと倒れたこともある。20 歳の頃横須賀を追われて、叔父のいた千頭に戻っていた。お祭りでは、漫談や歌謡曲を披露、マリリンモンローのまねをしながら楽器の演奏もした。

横須賀に戻り 25 歳のとき結婚、2 人の子宝にも恵まれた。けれど、相変わらず職を転々としながら飲酒は続いた。そんな西村さんを見かねて、会社に勤めていた叔父が自分の会社に誘い、フォークリフトなどの重機の部門に移った頃「酒をやめるか、会社を辞めるか」と引導を渡された。

酒をやめることを決心した西村さんは、市内の病院へ相談に行った。紹介されて訪れた精神病院で、子どもが見ている前で「ガッシャー」と鉄格子が閉められた。「ほんとにこれは酒をやめなくてはいけない」と思った。

退院後自ら、できたばかりの久里浜断酒会（現横須賀断酒会）に入る。当時の会長さん宅が、西村さんの家の近くだった。その縁も断酒会を続ける力になった。

「断酒会に入って、一生分を 32 歳までに飲んでしまったんだと思うようになった。自分はその人ほどひどくないと言って辞めて行く人もいるけれど、俺みたいになっちゃだめとってくれるところでもある」48 年間いろんな人に出会った。人に助けられたし助けた。人の相談に乗ったり自分の経験を喋ったりすることで、自分を強くすることができたという。



そんな断酒会で、ある演者と知り合った。漫談やベースなど芸事が好きだった西村さんは意気投合。彼との付き合いからいろいろな演者と付き合いが広がっていった。

ある日、都内で開かれた自宅寄席を見て「俺の家でもできるかな。」と思った。そして 50 歳を過ぎたとき、台所に高座を作り 6 畳間での自宅寄席をはじめた。いろいろな演者の方を招いての自宅寄席は続いたが、定年を期に幕を下ろす。自宅寄席を見に来ていた人たちから、寄席を続けようという声上がり、横須賀福祉寄席が始まった。

「80 歳になったのを契機に、断酒会を退会し、福祉寄席をできるところまでスタッフと一緒に一生懸命やろうと思うようになった。」福祉寄席は定期的に続いていて 30 回を超え、後進も育ててきている。

お酒にも、断酒にも、芸にも、何でも一生懸命な西村さん。人生いろいろなことがあるけれど、自分の意志と人との縁で乗り越えられる。そんな気持ちをもたらしたインタビューだった。（はこざき）

横須賀落語愛好会は落語の好きな同志が集まって結成された団体で、定期的に横須賀福祉寄席を開催し、収益の一部を横須賀市社会福祉協議会に寄付しています。町内会、老人会、その他の団体で落語会を企画する際の相談も受け付けています。

2015 年 10 月 4 日（日）には、第 33 回横須賀福祉寄席が予定されています。横須賀市立青少年会館 3 階ホールにて 13 時 30 分から開催予定。詳細は、西村さんにお問い合わせください。（TEL046-824-7012）

のたろんプロボノ大作戦

団体向け・社会人向け 説明会開催

サポセンでは、社会人のスキルを活かした団体支援のプログラムをおこなってます。



プロボノは専門的な分野で活躍する現役社会人のボランティア活動です。

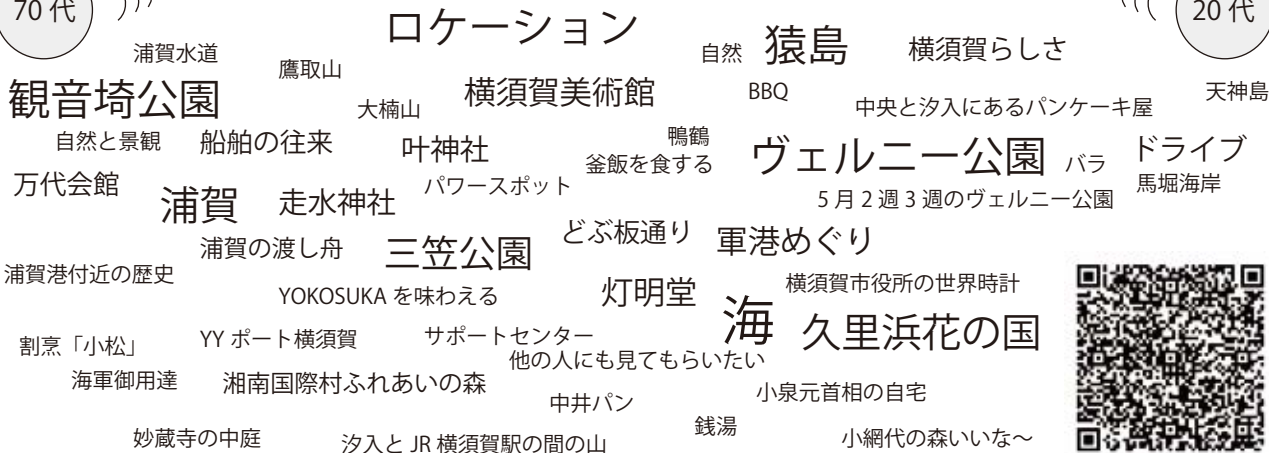
社会人向け 日時： 7 月 17 日（金）19:30～21:00
7 月 25 日（土）14:30～16:00
団体向け 日時： 7 月 21 日（火）14:30～16:00
7 月 31 日（金）19:30～21:00
場所： 横須賀市立市民活動サポートセンター

横須賀市内で友達をつれて行ってあげたい場所ってどこ？

それはなぜ？ サポセンを利用している人に聞きました。

70代)))

(((20代



アンケート結果をタグクラウド風に表示しました。期間限定公開 アンケート結果は のたろんジャーナルをチェック★

おひるね

最近、ひどく涙もろくなってきた。人前で
あつてもなくても泣くというところは恥かしい
ことだと思っていた。ところが先日ついに泣
いてしまった。しかも昼下がりのバスの中で、
だ。実はこの7月末をもって私は6年間務め
た横須賀市立市民活動サポートセンターを退
職することになった。その決断にいたるまで
さんざん迷いに迷った。こう書くのも恥ずか
しいが、私はサポートセンターの仕事にやり
がいを感じていて、スタッフを家族のように
感じている。利用者の皆さんやばーぐみの
メンバーと会えなくなるのはとても淋しい。
(あー恥かしい……)ところが、この歳になっ
てようやく自分のやりたいことが見つかって
しまった。自分の年齢を考えれば、これが最
後のチャンスかもしれない。退職することに
決めた。しかし愛着のある職場、女々しいこ
とに退職を決めてからも、心が揺れ続けてい
た。そんなある日のこと、スタッフの一人に
「あなたは前だけを見て、進みたい道を進め
ばいいんだよ」と声をかけられた。その何気
ない一言で、見事に私の心の揺れが止まった。
こんな自分を応援してくれる人がいる。それ
は、まさに「Not alone (ひとりじゃないよ)」
だった。そのことに帰りにバスで気がついた。
30すぎた女がさめざめ泣いている状況はかな
りの異常事態だと思う。しかし私はこうして
泣いたことを一生忘れないでおこうと決め
た。私は私の道をおこう。そしていつかここ
に恩返しができるようにがんばろうと。

(おおしまりえこ)

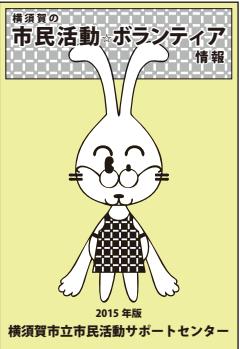


***** サポセンtopics トピックス

「これからなにが始めたい」「ボランティアをして
みたい」というときに見てみてください。

横須賀の 市民活動・ボランティア情報

2015 年度版



福祉、文化・スポーツ、環境、
まちづくり、子ども子育て
支援、IT、その他、分野別
で解りやすいA4サイズ22
ページの冊子です。
当センターのほか、行政セ
ンターなどの市内公共施設
などに置いてあります。

73団体のボランティア募集情報を掲載！

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報 (カメラ付き携帯で読み取れます)
- ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
- ◆サポートセンターのホームページ

「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪

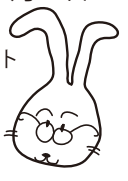


のたろんジャーナル

のたろん 検索

情報誌「のたろん」夏号 (通巻 63 号) 2015 年 7 月 1 日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27 (京浜急行汐入駅徒歩 1 分)
TEL 046-828-3130
FAX 046-828-3132



市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報
収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。